

*Sophia Drama
Festival '77*

目 次

学 長 あ い さ つ	1
学 生 部 長 あ い さ つ	2
委 員 長 あ い さ つ	2
フ ラ ン ス 語 劇	3
ロ シ ア 語 劇	6
ス ペ イ ン 語 劇	9
ド イ ツ 語 劇	12
各 劇 団 沿 革	15
編 集 後 記	16

日 程

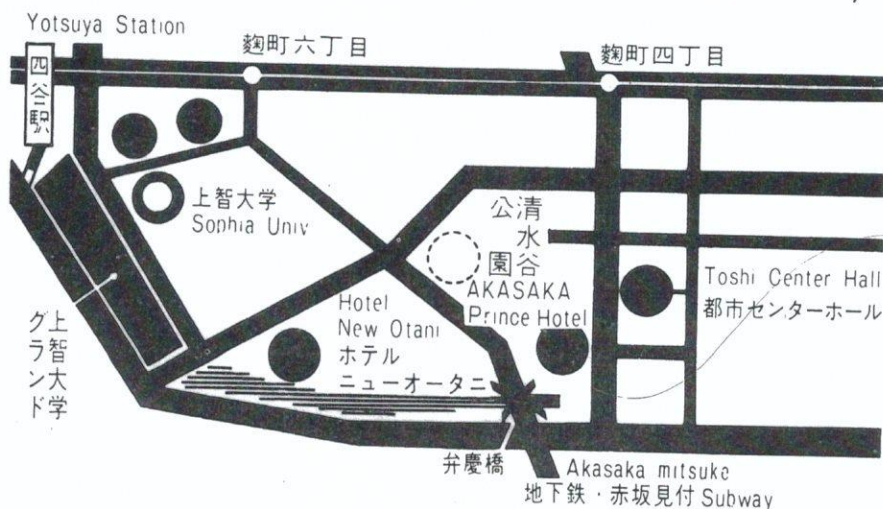
10月13, 14, 15日 (木・金・土) フランス語劇
 21, 22日 (金・土) ロシア語劇
 11月11, 12, 13日 (金・土・日) スペイン語劇
 18, 19, 20日 (金・土・日) ドイツ語劇

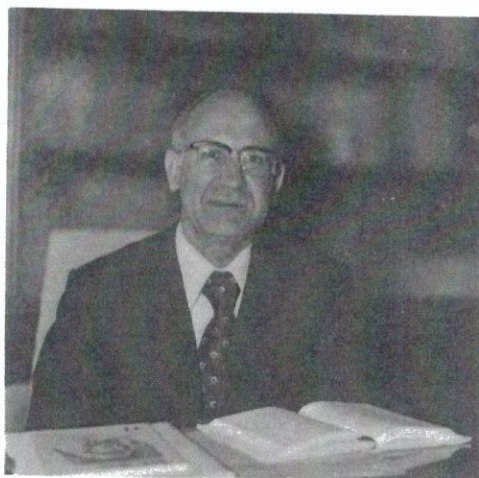
	(木・金)	(土)	※フランス語	(日) ※ドイツ語, スペイン語劇のみ
開 場	5 : 30	3 : 00	2 : 00	1 : 30
開 演	6 : 00	3 : 30	2 : 30	2 : 00

会 場

上 智 大 学 講 堂

上智大学案内図 (Guide to Sophia Univ.)





My sincere congratulations on the occasion of the eighteenth annual Sophia Drama Festival.

Among the many forms of extracurricular activities at Sophia, this Drama Festival has a very special meaning. Sophia University has placed great emphasis on language education from its very early days, and now more than ever students are studying foreign languages diligently in order to respond to the need for language ability in today's international society. The wonders of technology take us to far corners of the world and to

第18回上智大学語劇祭開催を心からお祝い申し上げます。

上智大学語劇祭は、数多い課外活動の中でも大変に興味深いものであります。上智大学は創立当初より外国語教育に力をそそぎ、ことに今日の如く国際社会における外国語の必要に応じるためには、学生が外国語をいかに習得するかが、その意味

18th

Sophia Drama Festival

Sponsored by Sophia Drama Festival Committee
At Auditorium of Sophia

Thu. Fri. 5:30 ~

Sat. 3:00 ~ (Excepton: Oct. 15 2:00 ~)

Sun. 1:30 ~

Oct. 13, 14, 15. 21, 22. Nov. 11, 12, 13. 18, 19, 20. ¥ 400

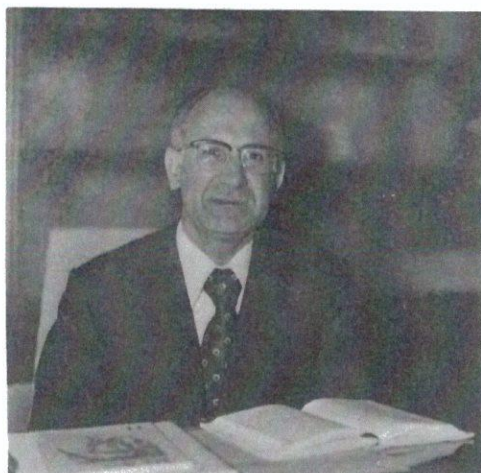
certain amount of information, but a full personality. Even more remarkable is the opportunity to do this through another's role, through the character one portrays on the stage. The richness and growth and profit of this experience is shared both by performers and audience.

Congratulations to all of those, both on the stage and behind it, who have again used the Play Festival as a means of developing their own personalities and potential. In a world of growing technological wonders we come to realize more and more the absolute necessity of developing the human component, the warm and immediate and understanding interaction of person with person.

ているとい
驚異は私達
会の中心に
せてくれま
ーションの
す。活字、
ユニケーシ
視聴者を受
分の目で見
。
元を与えて
マスメディ

アもこれに匹敵し得ません。観客の側からすれば、ラジオや映画などの限られた次元では殆んど不可能な直接性や登場人物との調和があります。役者にとっても、ただ照明とカメラに向かうのと違い、直接観客を感動や情を分かちことができる機会なのです。

英語、仏語、独語など各国語の修得は勿論のこと、国語を通して各国の理解を深めることが大切です、今日のこの上演を皆さんと共に観賞出来ることは大きなたのしみです。



My sincere congratulations on the occasion of the eighteenth annual Sophia Drama Festival.

Among the many forms of extracurricular activities at Sophia, this Drama Festival has a very special meaning. Sophia University has placed great emphasis on language education from its very early days, and now more than ever students are studying foreign languages diligently in order to respond to the need for language ability in today's international society. The wonders of technology take us to far corners of the world and to metropolitan centers where we are actual witnesses of events taking place. Yet despite such electronic wonders mankind still witnesses a strange failure in communications and a lack of understanding of one another. Communications through the written word and radio and television use secondary channels of communication. To a large extent they leave the recipient a passive receiver and do not provide the impact or the immediate experience of personal witness or observation.

Drama is an artistic field which offers a dimension of shared human experience unequalled by any of the mass media. From the viewer's standpoint there is an immediacy and an engagement with personalities seldom possible through the limited dimensions of radio or of movies. For the performers there is the opportunity of bringing feelings and emotions directly with people and not merely with klieg lights and cameramen.

The Play Festival offers a remarkable opportunity for students to broaden their abilities in effective communication by presenting not merely an event or a certain amount of information, but a full personality. Even more remarkable is the opportunity to do this through another's role, through the character one portrays on the stage. The richness and growth and profit of this experience is shared both by performers and audience.

Congratulations to all of those, both on the stage and behind it, who have again used the Play Festival as a means of developing their own personalities and potential. In a world of growing technological wonders we come to realize more and more the absolute necessity of developing the human component, the warm and immediate and understanding interaction of person with person.

第18回上智大学語劇祭開催を心からお祝い申し上げます。

上智大学語劇祭は、数多い課外活動の中でも大変に興味深いものであります。上智大学は創立当初より外国語教育に力をそそぎ、ことに今日の如く国際社会における外国語の必要に応じるためには、学生が外国語をいかに習得するか。その意味で語劇は語学習得の多様な要素をもっているといえましょう。又、現代のように技術の驚異は私達を世界のすみずみ、あるいはまた大都会の中心に導き、実際そこで起っていることを見せてくれます。しかし、人々は、何かコミュニケーションの不足を、お互いの理解の不足を感じます。活字、ラジオ、テレビなどは第二義的なコミュニケーションの手段であり、これらのものは、視聴者を受身の立場におき、自ら直接経験し、自分の目で見るといふ感動を与えてくれないのです。

劇は人間に、共通する経験という次元を与えてくれる芸術の一分野であり、いかなるマスメディアもこれに匹敵し得ません。観客の側からすれば、ラジオや映画などの限られた次元では殆んど不可能な直接性や登場人物との調和があります。役者にとっても、ただ照明とカメラに向かうのと違い、直接観客を感動や情を分かちあうことができる機会なのです。

英語、仏語、独語など各国語の修得は勿論のこと、国語を通して各国の理解を深めることが大切で、今日のこの上演を皆さんと共に観賞出来ることは大きなたのしみです。

学生部長あいさつ

金 井 寛

外国語で意志の伝達をするだけでも大変なのに、外国語で劇を上演することが容易でないことは門外漢の私にもよく分ります。

語劇というのは、外国語を上手に話すということだけではなく、外国語の持つ独特の美しさや、劇の持つ国民性のようなものを忠実に表現するところに意味があると思います。外国語の歌劇を聞いて、日本語訳の歌劇より感激するようなものです。大学生がこのようなことを考えるのはまだ少し早いように思います。（外国人の物の考え方などについての理解が不十分という意味で）しかし、視点を変えれば、語劇を上演するというだけで、外国人の考え方や外国文学が理解できるようになるという風にも考えられます。このように努力してくれるなら大変有意義なものとなるでしょう。

また、劇を上演するに至るまでの種々の努力や相互理解は何物にも替え難いよい経験となるように思われます。

このような意味で、是非効果のある語劇祭にして頂きたいと思います。このような努力が一般学生の共感をよんで、語劇祭が全学で楽しむ行事となることを願っております。

委員長あいさつ

雑 賀 克 行

上智の語劇は大学の歴史とさほど変わらないほど長い歴史をもち、語劇祭としては今回で18回目を迎えることになりました。また新たなページを語劇祭の歴史に書き加えることができたことは、我々が大きな喜びとするところです。

語劇祭の各メンバーが追求するのは、その国の言葉を学び、文化に接し、それを通して「人間」を考えることです。言葉はその文化のシンボルであり、モニュメントであって、その背景には力強く脈打ち、流れる民族の伝統、歴史、文化が不可分の状態で存在しているのです。ここに我々が翻訳劇で満足しきれない原因があります。言語芸術においては、翻訳という作業によってその作品を異なる文化の地平に置けば必然的にギャップが生じてきます。名作はそれぞれ普遍的価値を有し、翻訳したところでそれが消滅することはありませんが、我々が翻訳劇を見た際、どうしても一抹の異和感、ぎこちなさを感じ、原作に及ばないと思うのは、このことが原因でしょう。

演劇はその時代の社会・人間を最も敏感に反映するものだといわれます。そして、その中には人間の叫びがこめられています。その民族の最大の所産である言葉で、第三者の仲介を経ず、直接人間を表現し、観客に訴え、感動を分かち、これが我々の目ざすところであり、語劇の最大の意義でしょう。未熟な我々にとっては、これはとてつもなく大きな目標かもしれませんが、一歩でもこれに近づこうと今まで努力を重ねてきました。

一同、力不足ではありますが、今までの成果を十分御覧いただき、御批判や助言などをお聞かせ願えれば幸いです。

最後になりますが、今回の語劇祭のためにいろいろ御尽力下さいました学生部の方々、諸先生方にこの紙上を借りて、心からお礼を申し上げます。

墓場なき死者

Morts sans sépulture

J.-P. サルトル 作

松本邦夫 演出



〔サルトルの劇作術と

『墓場なき死者』に就て〕

サルトルの劇作に於ては、ある与えられた状況内での、各人の選択の自由が、常に問題とされる。それは、彼の文学理論中の、社会参加する作家像から推して、当然行き着く所であった。彼はその著作の、殆んど総てを、韻文を用いては書かない。韻文は、言語をその純粹の目的とするからだ。散文の作品は、無論戯曲も含め、作家の主義主張・その思想を、そのままの姿で、読者或いは観客に、伝えることに専心し、寧ろ言語は、その機能を駆使し、その思想の容貌を、言語の向う側へ、鮮明に彫り出すことを、その目的とする。散文の言語は、手段以外の何者でもない。作家は、言語を用いて、戯曲の設定された状況を明らかにし、そこで行なわれる、登場人物達の刻々の性格形成と、彼らの選択を観客に提示し、それによって、観客自身が自らの選択を決断するよう、迫る。それが

★ スタッフ

総合舞台監修	松本邦夫
音効オペレーター	足立裕宜
照明オペレーター	石丸隆雄
制作	浅田美左代 片山はるひ

★ キャスト

フランソワ	金子貴彦
ソルビエ	氏家朗
カノリス	角田純
リュシー	北代由紀子
アンリ	曾木宏文
ジャン	谷口吉光
クロシェ	岡芹秀人
ランドリュ	鈴田正則
ペールラン	杉原隆

その他憲兵たち

サルトルの、所謂アンガージュマンの、簡略な骨子と言えそうだ。

演劇は、過去を描くのではなく、未来を描くのでは更でない。たとえ作家が、過去の事実取材するとしても、彼は過去を過去として描くのではなく、実現しつつある現在として描くのである。演劇は、常に観客の眼前にくりひろげられる現在であり、そこで起る出来事は、誰にも予測し得ない。現在は未来の闇に閉ざされ、人物の発展・事件の変化は、一刻一刻の継起に、身を委ねるしかない。サルトルが、「状況の演劇」を、執拗に追求する理由は、ここにある。登場人物は、あちらでなく、ここにいる。ここ以外の場所では存在していない。彼は、与えられた状況の中で選択し、行動しなければならない。同時に、彼は選択することによって、それによって生じる影響への責任を、悉く負わなければならない。彼は、自らの状況にまつわる選択と同時に、世界を択んだ。責任は世界を負う。また、彼の行動は、彼の過去をも、規定する。現在の彼は、過去の自分の、看

視のもとに、ある。彼は、少年時代、英雄を夢見た。彼は数々の善行を施し、貧しい少女を愛した。しかし、現在の彼が、如何なる例外的状況に置かれていようと、不誠実を働けば、彼の過去は、その輝きを失い、新たな意味が付加される。死は彼の人生を精算する。彼がいくら弁明を試みようと、事実は歪められない。彼の行動は、事実として記入される。あらわれが総てだ。内心の葛藤は参酌されぬ。従って、寸秒の選択も、不誠実であれば、人間の一生を腐らせるに充分となる。しかも人間は、嘗て為した行動を身にひき受け、弁明も許されず、尚生きて行く。苛酷だ。しかもそれが、現代の我々の生活というものではなかったか。サルトルは、世界の中から取り出したある状況内で、人間はどのように行動しうるか、その限界まで飽くことなく追求し、現代の我々の生活に、一つの規範を与えようとしたのである。



自由とは何か。この問題は、『自由への道』で、詳細に語られた。劇作の中でも、自由の問題は深く追求された。只、『自由への道』一作の中で語られた、体系的な自由の概念が、劇作では、たまたま、一作の中に、その全貌を顕わすことがなかった。それは戯曲という形式の、限界でもあったろう。

自由は、戯曲では、先ず『蠅』の中で語られる。それはいささか抽象的な自由であり、何ら拘束のない状態から、自らが進んで拘束を作る過程に現われる。先ず神は、人間が自由であることを自覚するに及んで、解体し、姿を消す。これが、オレステスとジュピターの対話によって明らかにされ、サルトルは、「神がなければ総てが許される」というドストエフスキーのマクシムを逆に用いて、人間の、自由への処し方を、言明する。人間は自由だ。誰にも導かれはしない。「人間は自由の刑に処せられている」。人間は全き自由の中で、不安であり孤独だ。何人も彼を救えはしまい。そこからオレステスは出発し、運命の名の下に、拵び、

行動し、そこで荷された拘束を一身に負う。『出口なし』でも、それと似たような自由が説かれるが、未だ具体的な様相を帯びるには、至っていない。

人間の意志に関わらず、外部から圧倒的な理不尽さで、人間を呑みこむ状況というものがあったろうか。我々の世紀は、何度かそれを体験した。戦争は、人間の主観を超越する。戦争全体を、一つの主観が完全に捉えることは出来ない。第二次世界大戦は、ヒトラーではなく、ヒロヒトではなく、自由主義陣営でさえなく、一人一人の個人の、断片的な意識の総体であった。ある瞬間、血を吐いて仆れる兵士、地雷を掘る手、逃げまどう子供、地球の裏側で、パンにジャムを塗る指、瀰散する精液の飛沫、悲鳴、それらの総体が作り出す像、それが戦争であった。しかもそれは、個人を大きく超越し、尚且つ個人は選択を迫られる。戦争は個人を超越し、しかもそこにある。あって人間を押し拉ぐ。そこで自由は如何に発露するか。サルトルは『墓場なき死者』の中で、自由を、戦時状態において更に現実的に捉えようとしている。

この作品は、史実にもとづいて、可成厳密に、その時期を迎えることができる。南フランスへの連合軍の上陸は、1944年の8月。事件は、その直前に起ったものと見られる。連合軍のノルマンディー上陸は漸く実現し、ドイツ軍が、じりじりと後退をやむなくされる中で、フランスの抵抗戦線は、一挙に攻勢に出ようとする。その中の一つの部隊は、ある部落を占領しよう、命令を受けるが、失敗し、300の村人や同胞は銃弾に仆れ、わずかに残った5人の兵士は、ベタン軍の手によって、廃屋に監禁され、今や拷問を受けようとしている。その作戦は、所詮、かなうものではなかった。残った兵士個人にとって、その作戦に意味はなかった。だが、任務は、彼らの意志に反しても、遂行されねばならなかった。結果は、多くの人人が死に、生き残った兵士は、獄中、巻き添えにした村人に対する責任感に悩まされている。そこから、

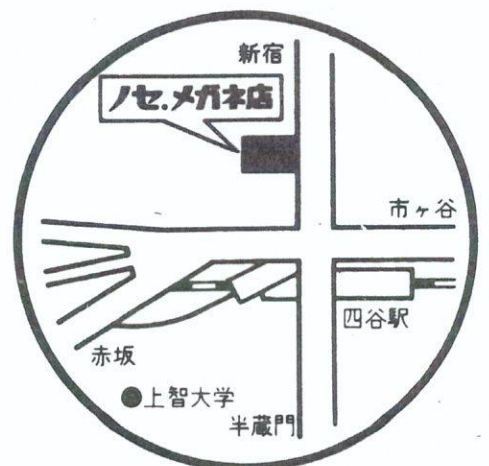


学生割引

メガネ・コンタクトレンズ

ノセ.メガネ店

東京店 ● 四谷駅前 PHONE 355-0044



舞台ははじまる。

一体、その部落の攻略に、どんな意味があったのか。それは、結局、上からの命令にすぎず、彼ら一人一人にとっては、どうでも良いことだった。だが、戦場は、兵士の主張を認容しなかった。彼らの行為の結果、多くの人人が死ぬ。命令が、彼らの意志に反していたにせよ、彼らは自分たちの行為に、責任を負わなければならない。しかも彼らの前には、対独協力側のフランス軍の拷問が待ちうけている。ところが、一介の兵士に過ぎぬ彼らには、漏らしては困る秘密も、隠すべき作戦もなかった。彼らは意味もなく苦しみ、死んでゆくだろう。果して人間は、そんなことに耐えられるか。

だが、そこへ、彼らの指揮官である男が連れられて来る。彼の身分は、対独協力側には知られなかった。俘虜にも、秘すべきものが出来たのだ。拷問に耐えなければならぬ理由も、ある。その事実を前に、一人一人の兵士は、自らの判断に従って、行動しようとする。或る者は、自分の肉体が、拷問の苦痛に耐えられぬことを知り、自ら生命を断つ。15才にしかならぬ少年は、仲間によって、死を以って、口を封じられる。残った兵士たちにとっては、口を割らずに死ぬことが、対独協力者への、唯一の報復であった。敗北の近いことを知る対独協力者は、それだけに一層、獐悪となり、残虐にレジスタンス兵士を苦しめる。

やがて、彼らの隊長は、身分を知られぬままに、釈放される。彼は、釈放される間に、ある洞窟に横わる死体を擬装して、自分に見せかけるから、その位置を協力側に報せるようにと、言い残す。彼らは、最後まで口を割らないことを望んだが、そのうち、一人が、その位置を教えて、この無意味な苦しみから逃れる方が、賢明であると考え、他の二人を同意させ、偽りの情報を陳述するが、結局銃殺される。彼らは、口を割らないことで得られたらう勝利感も持たず、屈辱のうちに死んだ。その死によって、彼らの一生の意味が算定さ

れるのだ。

オレステスの自由は、観念上の自由であった。しかし、『墓場なき死者』の、レジスタンス隊員の自由は、極端に束縛を受けた状況での自由である。彼らが自由であるなら、鎖に繋がれた奴隷さえ、自由と言え。何故か。どんな外的拘束を受けた者をも、自由と呼べる。彼らは与えられた状況の中で、自らに誠実であることを怠らない。この戯曲の中で、ある者は、自らの肉体が、これ以上の苦痛に耐えられないと知った時、生命を絶った。彼は為すべきことを自ら決定したのであり、口を割らないためには、それはやむをえなかった。人間には肉体の強弱がある。死んだ者は弱かった。誰にそれが咎められるか。彼は肉体の限度を見極め、その判断に従って、自殺の道を選んだのだ。まさしくそこに自由がある。自らの決定したことを為す自由が。それは、どんな拘束の中にあっても有効だ。少なくとも彼は卑劣ではなかった、と言えさえすれば良い。そしてまた、捉えられた他の兵士たちも、自らを欺くことなく、自分達の自由な選択に、忠実であろうとする。その中の一人の女は、弟が自白すると見て取ると、仲間の手を通して、弟を殺害する。耐え難いまでの惨劇だ。だが彼らは、最後まで自らに誠実であろうとする厳格さを、捨てなかった。サルトルは、漸くここで、戦争という極限状態に於ける、生身の人間にとっての、自由の問題に達したのだ。

いかにもこれは暗い芝居だ。他の戯曲にした方が良かったのだろう。だが、決定した以上、できるだけのことはやりたい。

最後に、仏文科の諸教授、殊にベジノ師やフロモン師にはいろいろと御心配をかけ、また、お手を煩わせした。ここに深いお詫ごと、心からの謝意を表わしておきたい。

(現代フランス演劇研究会代表 松本邦夫)

麻雀・質

上智大学裏門すぐ

宝屋

Tel. 261-6096(麻雀) 261-0882(質)

СВАДЬБА

一披 露 宴一

原作 A. П. チェーホフ

★ キャスト

ズメューキナ (助産婦)	小野 玖仁子 (3)
ヤーチ (電信技士)	山川 泰 (2)
媒酌人	永田 靖 (1)
ナスターシャ (花嫁の母)	岡上 理穂 (2)
アブロンボーフ (花婿)	池内 尚郎 (2)
モズコヴィ (水夫)	松本 秀昭 (1)
ジガーロフ (花嫁の父)	今西 穂高 (2)
ドウインバ (ギリシヤ人)	広瀬 一郎 (2)
ダーシエンカ (花嫁)	日野 由貴 (1)
ニューニン (?)	武隅 喜一 (2)
レヴノフ (船長)	河澄 正人 (2)
ウエトレス	本田 かおり (1)

★ スタッフ

制 作	武隅 喜一 (2)	
演 出	宮沢 典子 (3)	山川 泰 (2)
無 監	大久保 義人 (4)	西川 一郎 (4)
音 効	今西 穂高 (2)	
照 明	小町 千治 (2)	松木 秀昭 (1)
大 道 具	広瀬 一郎 (2)	永田 靖 (1)
小 道 具	磯田 千雪 (3)	本多 かおり (1)
	市川 香織 (1)	
メ イ ク	宮沢 典子 (3)	佐川 共恵 (1)
字 幕	石井 孝子 (3)	河澄 正人 (2)
	藤川 尚子 (2)	
衣 裳	白石 実千代 (2)	角井 希久子 (1)
語 監	矢嶋 和子 (4)	小熊 潤一 (4)
装 飾	佐藤 宣子 (2)	
マネージャー	荒井 茂美 (2)	

【作者紹介】

Антон Павлович Чехов (1860~1904)

Антон Павлович Чехов родился 17 января 1860 года в портовом городе, городе искусства Таганроге. Он происходил из купеческой семьи, его дед был бывшим крепостным. Чехов провел свое детство в бедности. Оказало на него влияние и возбудило в нем стремление к свободе все: строгое воспитание и в семье и в гимназии, и такие необычайные географические условия, как раскинувшееся перед городом море и окружающая город с другой стороны степь.

После поступления на медицинский факультет Московского университета ему пришлось взяться за перо, чтобы, заменив разорившегося отца, помочь семье. Это было время, когда губя свой литературный талант, он писал многочисленные юмористические рассказы ради денег. В 1886 году письмо старого писателя Д. В. Григоровича послужило причиной перехода от юмориста Чехонте к Чехову.

Он укрепил свое писательное положение, получив в 1888 году Пушкинскую премию, и вплоть до смерти от туберкулеза создал одно за другим такие выдающиеся произведения, как "Чайка", "Дядя Ваня", "Три сестры" и "Вишневый сад".

"Чехов-неисчерпаем, ..." говорил великий режиссер-постановщик и актер К. С. Станиславский, который вместе с Чеховым содействовал развитию Московского Художественного Театра.

Мы же в другом смысле теряемся перед глубиной и сложностью мыслей Чехова. Искусство Чехова живет в нас и теперь, сочетая в себе такие противоположные стороны, как шутовство и меланхоличность, общительность и замкнутость, комедийность и трагедийность.



アントン・パーヴロヴィッチ・チェーホフ

1860年1月17日、芸術の港町タガンローグに生れる。農奴あがりの商家の出であるチェーホフは、極貧の中に少年時代を送った。厳格な家庭、囚人教育の学校、前面には海、背面には草原、という地理的条件がチェーホフの「自由へのあこがれ」の芽を育てた。モスクワ大学医学部に進んでから、破産した父親にかわって、一家の生計を立てる為に、筆を取らなければならなかった。自分の文学的才能を殺して、お金のためにユーモア小説を盛んに書きまくったのは此の頃である。1886年、作家グリゴロヴィッチの書簡が滑稽作家チェーホフからチェーホフへの転換期となった。1888年プーシキン賞を得てから、作家的地位を決定的なものにし、結核に倒れるまで、「かもめ」「叔父ワーニャ」「三人姉妹」「桜の園」と次々大作を生みだしていくのである。

「チェーホフは汲み尽し得ない」とは、チェーホフと共にモスクワ芸術座を育てた、演出家スタニスラフスキーの言葉であるが、我々はこれとは別な意味でチェーホフの複雑さ、内容の深さに戸惑う。茶目と孤独、開放性と閉鎖性、喜劇と悲劇、その紙一重の中に、チェーホフの文学は生き続けている。

各国コーヒーの店

キャニオン

営業時間 AM 8:30 ~ PM 9:00

新道通り第一勧銀地下

TEL (357) 8086

お好み焼と焼そば

ご宴会・クラス会等に
御利用下さい。

お料理 180円 ~ 380円まで

四谷見附駅前

仙人

新宿通り ☎(357) 9084

【あらすじ】

結婚披露宴を舞台とし、そこに織りなされる、人々のさまざまな思惑を風刺的に描いた一幕の喜劇。

新郎アブロンボーフのダーシェンカとの結婚は彼女の持参金目当て。しかし花嫁の母ナスターシャはそのお金を出し惜しみ、彼がそのことを持ち出すと、しきりに話をそらそうとする。

アブロンボーフは電信技士ヤーチが気に障る。以前ヤーチがダーシェンカに言い寄っていたからである。だがヤーチは披露宴の席で助産婦のズメューキナを追いかけてまわす。

テーブルでは花嫁の気のいい父親、ジガーロフがロシア語のうまく喋れないギリシャ人ドゥインバと早くも盃を重ねている。

いよいよ宴が始まろうとするとき、ニューニンが一人の老人の来訪を告げる。老人は、ナスターシャが披露宴の格式を高めるために、ニューニンに頼んでおいた將軍である。しかしこの老人、実は將軍ではなくただの船長にすぎない。老人はスピーチを頼まれるが、彼の話すことと云ったら皆目わからぬ船の操作のことばかり。しびれをきらした客達は他の話を頼むが、老人はトンチンカンな話を続ける。人々はどよめき立ち、ついにナスターシャが老人に、願うために支払った25ルーブリのことを話す。しかし彼は金など受けとっていない。山師ニューニンが着服したのだ！

老人は憤慨して席を立ち、一座騒然となる。

『披露宴』までのいきさつ

チェーホフ的一幕物に決まるまでには、さまざまな経緯があった。今年は語劇祭への準備が出遅れ、しかもキャスト・スタッフの主要メンバーが1・2年であるという困難が重なった。今年は参加を見合わせたらどうだろう、という声もあった。しかし僕たちにとって、語劇祭という機会を一度でも逃すことは残念でもあり口惜しかった。そこで、なにしろ出来るだけやってみようということになった。

1・2年生のメンバーで従来のような大がかりな多幕物を上演するには無理があった。当然選択の範囲は限られてくる。その中から、短いながらもそれなりの完成度を持ったものとして残ったのが、チェーホフの幾つかの一幕物であった。

チェーホフ的一幕劇には、彼の四幕物に見られるような複雑な人間模様や、内面の葛藤はない。ドラマチックなストーリーの展開はない。しかしチェーホフの鋭い人間観察が、ここでは軽妙なアイロニーとなって表われる。味の効いたユーモアとなって、短い会話のやりとりの中に表われる。

僕たちが取り組むには格好な材料であった。未経験の僕たちにとって得るところは大きかった筈である。この経験が来年への布石になれば、と思っている。

(武隅)

祝 語 劇 祭

語劇祭の次は、冬のロシアで、本場のバレエ、オペラ、劇をご覧になりませんか？
旅行のことなら何でもご相談下さい。

上智大学OBの会社

運輸大臣登録一般旅行業第345号 JATA会員

トラベル世界株式会社

〒105 東京都港区虎ノ門1-22-13

☎(03)591-6201

「立ち枯れ」

3 幕 4 場

原作 アレハンドロ・カソーナ

Los árboles mueren de pie

★ キャスト

Los miembros de la institución (組織のメンバーたち)

Elena	(秘書)	西本尚美(3)	
Amelia	(タイピスト)	木村智子(1)	飯塚久美子(2)/
El Pastor noruego	(ノルウェー人の牧師)	土井迫潮(2)	
El Ilusionista	(手品師)	中村光年(2)	
El Cazador	(猟師)	青木正(2)	
El ladrón de ladrones	(どろぼう)	多田暁(3)	

Mauricio	(所長)	長谷川聡(3)
Marta - Isabel	(若い娘)	高橋正江(2)
El señor Balboa	(老人)	広崎信二郎(2)

La abuela	(老女)	江藤千景(3)
Genoveva	(召使い)	高雄清美(2)
Felisa	(召使い)	奥村比佐(3)
El Otro	(孫)	雑賀克行(3)

★ スタッフ

演出	多田暁(3)	
舞台監督	山口京子(3)	
副 "	雑賀克行(3)	中村光年(2)
照明	明松本京子(1)	
音楽	効狩野伸子(1)	
メイク	奥村比佐(3)	鈴木美代子(1) 小滝圭子(1)
衣装	鈴木美代子(1)	
小道具	小滝圭子(1)	
大道具	青木正(2)	山岸道長(1)
字幕	西本尚美(3)	
制作・訳監修	雑賀克行(3)	
発音指導	Manuel Diez 教授	

【解説】

これは1947年、アレハンドロ・カソーナ44才の時の作品で、1949年アルゼンチンのブエノスアイレスで初演、彼の母国スペインで上演されたのはずっと後の1963年のことであった。その後ポルトガル、フランス、イタリア、ドイツ、オランダ、フィンランド語に訳され、各国で上演されて非常に好評を得た。

第1幕は奇妙な秘密組織の内部での幻想的な場面の連続、第2、第3幕は老女の家という現実的な世界の中での巧妙に仕組まれた芝居、現実と幻想の対比が面白い作品で、登場人物の誰もが主役であると言ってもさしつかえないほど一人一人が重要な役割を果たしている。劇の原題“ Los árboles mueren de pie ” は直訳すれば「木々は立ったまま死ぬ(枯れる)」であるが、さてこの題に隠された意味は……？

【あ ら す じ】

En una gran ciudad de España, hay una institución cuya misión es llevar la paz y la felicidad a las personas necesitadas de auxilio sentimental o espiritual. A Marta Isabel, joven que ha estado a punto de suicidarse, se le encomienda una misión que contribuirá a su propia dicha. También acude a la institución el señor Balboa, anciano que vivía con su mujer y un nieto al que amaban mucho. La maldad de ese nieto motivó que el señor Balboa lo tuviera que echar del hogar, huyendo el joven al Canadá y convirtiéndose en un malhechor famoso. Para que la pobre abuela conserve la ilusión, su esposo le ha ocultado la conducta del nieto y ha fingido periódicas cartas de éste a sus abuelos, en las que narra cómo va trabajando y cómo ha contraído matrimonio con una encantadora muchacha. La ilusión de la abuela es completa. Un día el nieto anuncia su regreso a España; pero el barco en que viaja se hunde, pereciendo al parecer todos sus pasajeros. Para evitar el fatal golpe a la abuela, el señor Balboa ruega al director de la institución que se haga pasar por su nieto Mauricio. El director acepta y elige a Marta Isabel para que desempeñe el papel de su esposa. Presentados a la abuela los falsos cónyuges, se compenetran tan intensa, tan lealmente con sus papeles, que la ilusión de verdad es absoluta. Mientras tanto, el director y Marta Isabel empiezan a quererse. Pero entonces surge una inesperada complicación: la llegada del verdadero nieto que viene decidido a dar el escándalo si su abuelo no le entrega una crecida cantidad.....

スペインの大都市。人類に平和と幸せをもたらすことを使命とする組織が密かに活動していた。メンバーの仕事は、奇妙な作戦と巧みな変装によって不幸な人々を救うことだった。ある日、打ちひしがれた様子の若い娘が組織に助けを求めてやってきた。彼女の名はイサベル、自殺を図って失敗したのだという。同じように、二十年前非行少年の孫を家から追い出した老人バルボアもやってきた。彼の孫マウリシオはカナダへ逃げ、そこで数々の悪事を働いているらしい。希望もなく日毎に弱っていく年老いた妻を元気づけるために、バルボアは事実と反対のニセ手紙を書き続けた——すばらしい女性と結婚して真面目に働いています——と。そんな時本物の孫からスペインへ帰ってくるという電報が届く。お婆さんは何も知らずに、立派に更生した孫の帰りを心待ちにしていた。しかし幸か不幸か、孫は船の事故で死んだとの知らせがあった。孫の死を告げて妻にショックを与えまいと、バルボアは組織の所長にマウリシオの代役を頼む。人々の幸福のために大きな理想を抱いて奉仕する所長はそれを承諾し、孫の妻の代役としてイサベルを選ぶ。燃えつきようとするお婆さんの生命の火をかき立てるための、数日間の大芝居がこうして始まった。所長とイサベルの演技にお婆さんは最初のうちすっかりだまされ、心も体も別人のように生き生きとなった。夫婦の役柄を真剣になって演じるうちに、若い二人はお互いに愛を感じ始める。ところがその時、死んだはずの孫、つまり本物のマウリシオが名をかくして現われる。彼は家を追い出されてからのみじめな生活の代償として莫大な金を要求するが……。

＊秋の葡萄酒フェア開催中＊

世界が変わった日本のワインが
とても安く飲みます!

詩集とアクセサリー
紅茶とワインのお店

アンニユイ

なかの駅3分、ブロードウェイ4F
TEL. 388-5648.

池袋駅より徒歩7分、立教大学横入る

東京スペイン語学院

- ◎ 初級から上級まで 9クラス (夜昼共)
- ◎ 文法と会話
- ◎ 案内書希望の方は
〒50を同封の上お申込み下さい。

豊島区西池袋5-13-6

TEL 971-0714・983-5665

学院長 瓜谷良平

【作者紹介】

アレハンドロ・カソーナ (Alejandro Casona)
(1903~65)

スペイン、アストゥーリアス地方出身。両親は教員であった。25才頃からコンクールに作品を送り始め、28才の時マドリッドの小学校教員となる。1934年に彼の代表作「陸にあがった人魚」が初演され、その後ベビータ・ディアスらの新しい演劇活動に加わって南米へ渡った。1939年から61年までブエノスアイレスに滞在、この間多くの戯曲を書き続けた。61年スペインに帰国してから、彼の作品が次々に初演されて好評を博した。

彼の作品には ¿Lo real en lo irreal, o lo irreal en lo real? (非現実における現実か、それとも現実における非現実か) と評されたように、現実と幻想との葛藤が、詩的な文体と巧みな演劇技法を駆使して展開されている。また教育者としての意識が強かったことは彼の演劇を知るには欠かせない要素である。

代表作としてはこの「立ち枯れ」の他に「暁の婦人」(1944)、「漁夫なき舟」(1945)などがあげられる。

【雑感】

全員が演劇等というものにはズブの素人、まして演出家は何も分っちゃいない……。こんな状態で、一体立派な芝居をうてるんだらうかと思うと夜も寝られない。加えて、我がサークルは校内語劇団体で最もダイコンミテイクな劇をするとの評判。しかし、各メンバーを詳細に観察すれば、まともな人間は皆無である。故にまかり間違えば、驚く程個性的で素晴らしい劇になるはず。

とにもかくにも、西語劇再結成三年目を迎え、我々は過去二年間に建てられた二階屋の上に、更にもう一階を建てようとしている。歪んだ家、入口のない家になるかもしれない。全ての外国語劇につきものの、あちらさんの身ぶり、風習等と“我々が日本人であること”との葛藤、なんて問題もあるし——。でも少なくとも、どこかにほんのりと灯のともった暖かい家を建てたいな——と思っている。甘いな——俺って。

〔演出・多田〕

“Muerta por dentro, pero de pie.
Como un árbol.”

「中は枯れていても——それでも立っている。ちょうど一本の木のように……」

ニシモト英語教室

☆ 小学校高学年・中学生・高校生対象
少人数のグループで教えます。

西武新宿線沼袋駅より徒歩2分
中野区新井4-32-7 パラシオン中野704号

西本博子

TEL (387) 1482

三文オペラ

作 Bertolt Brecht

Die Dreigroschenoper

★ キャスト

- ・マクヒイス (どすのメッキーと呼ばれる)
- ・ジョナサン・J・ピーチャム
(「乞食の友」と呼ばれる店の所有者)
- ・シリヤ・ピーチャム (その妻)
- ・ポリー・ピーチャム (その娘)
- ・呑み屋のジェニー
- ・ブラウン (ロンドンの警視総監)
- ・ルウシー (その娘)
- ・キンバル牧師
- ・フィルチ
- ・殺人物語の歌手
- 泥棒たち
- ・マティヤス (古銅貨のマティヤス)
- ・ジャーク (鍵ゆびのジャーク)
- ・ロバート (のこぎりのロバート)
- ・ウォルター (枝垂れ柳のウォルター)
- ・ジミー
- ・エデ
- 乞食たち }
淫売たち }

スミス
警官

原 寿 宏
高 垣 隆 一
深 海 由起子
杉 山 晶子
出 口 純子
柿 沼 徹子
吉 本 知子
関 川 誠夫
門 上 満夫
韓 研 熙
新 井 一 郎
佐々木 史郎
中 嶋 方 春
酒 井 研 克
韓 上 満 熙
門 池 朋 夫
小 石 尾 奈都子
石 代 恭 世
松 野 智 子
中 嶋 方 春
酒 井 克

藤 田 千 枝

★ スタッフ

演 出 明 術 裳
照 明 術 裳
舞 台 美 術 裳
舞 衣
メ イ ク
(作 曲
音 効
歌 唱 指 導
発 音 指 導
プ ロ ン プ タ ー
会 計
舞 台 監 督
制 作

関 川 誠
小 高 慶 子
出 口 純 子
代 恭 世
水 島 久美子
松 野 智 子
Kurt Weil)
騎 西 潤
窪 田 祥 子
フ ラ ン ツ ・ ア ン ト ン ・ ナ イ ヤ ー 教 授
森 千鶴子
吉 本 知 子
関 川 誠
水 島 久美子

蒲 生 正 裕
蒲 生 正 裕
新 福 尚 子
森 千鶴子
藤 田 千 枝
明 石 政 紀
石 塚 尚 子
新 福 尚 子
明 石 政 紀

大 堀 聡

谷 口 真 矢 子

三文オペラの上演にあたって

いろいろな雑誌の劇場案内などを見ましても、毎月かならずどこかの劇団でBrechtの作品が上演されています。Brechtの作品は地味ですが、何かしら人を引き付ける魅力を持っているようです。私達も『三文オペラ』を今秋の公演作品に選びましたが、これは一度ミュージカルを上演してみたいという希望からです。しかしこのように決定してひと月、『三文オペラ』を単なるミュージカルとして扱って来た自分達の間違いに気づきました。アメリカ的娯楽追求のミュージカルとは訳が違います。Brechtには全体として社会批判をテーマにした、政治色の強い芝居が多いようで、『三文オペラ』も決してその例外ではありません。然るに、1928年ベルリンで初演されて以来日本でも多くの劇団によって取り上げられていながら、ロマンティック且つニヒルな芝居のように誤解されて来たのは、Weil作曲の数々のジャズ調の歌がひろく一般にも親しまれて来たために、作品の内容それ自体は正確に伝わらなかったからでしょう。ともあれ、今なお誤解されていながらも、『三文オペラ』は今日Brechtの代表作の一つに数えられています。

『三文オペラ』の根本思想は、ブルジョワ社会に照らしあわせ、人間関係の事物化と資本化を批判する事にあります。マクヒイス（盗賊の首領）とピーチャム（乞食の王）の二人がブルジョワの典型として登場します。この二人の対立によって芝居は進展していきますが、ここで留意しなければならないのは、この二人の対立がピーチャムの欺瞞に満ちた道義心から起きたのではなく、マクヒイスが彼の商売敵である上にさらに娘ポリーを奪ったから起きたという事です。実際ピーチャムには一片の道義心もなく、聖書の言葉も彼にとっては生活の手段にしかすぎないのです。芝居の最後で、処刑寸前のマクヒイスが馬上の使者によって救われるという結末はあっけないかもしれ

ません。ただ私はここにこそこの芝居の現代における縮図を見るのです。図式化してしまうならば、マクヒイス、馬上の使者、女王という相関関係は、今日の資産家をはじめとした裕福な人々、道徳、権力という関係で捉える事ができます。したがってこの最後の場面にこそこの世における人間関係がすべて集約されているのです。

『三文オペラ』は50年近くも前の作品で当時の社会背景をパロディー化したものですが、このように現代にも充分通じるのは、50年前も今日も本質的に何も変わっていないからです。Brechtの作品が古今の偉大な劇作家達のように、人類の普遍的問題を扱っていないという批判は、社会的、経済的不公平が続くかぎり、正当ではありません。

この『三文オペラ』はBrechtにとっては必ずしも成功した作品であったとは言えないのですが、これはBrechtが自分の新しい演劇論をこの作品で試そうとしたからです。

私達は『三文オペラ』をできるだけBrechtの意図ど通りに上演しようとしています。幸いBrechtに関しては、多くの参考書が出まわっており、資料にも事欠きません。ただ演劇に関する知識が乏しい私達には、技術上の面からも、ある程度の内容の変更は余儀なくされそうです。また『三文オペラ』ではWeil作曲の歌が重要な意義を持っていますので、そのまま使用する事にしました。あと4ヶ月半、私達は上演の成功を願って悲壯観にひたりながらも精一杯努力しています。今回は1・2年中心の公演で（勿論諸先輩方にはいろいろと助言を頂きました）、あらゆる所で未熟な面をさらけ出しそうですが、それなりに新鮮な『三文オペラ』を上演できる事と思います。また上演にあたりましては、Franz Anton-Neyer教授に多方面に及ぶ御指導をいただき感謝しております。最後に皆様方の御批判を頂ける事を期待しております。

1977年8月 M, S

BÜCHER

Belletristik
Sachliteratur
Taschenbücher
Kinder- und Jugendbücher

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

E. メクレンブルグ商会

東京都千代田区有楽町1-4-1 三信ビル 地階

電話 東京 (03) 591-8666-9095 (郵便番号 100)

(日比谷朝日生命館から隣りの三信ビルに移りました)

ドイツ書の店

現代文学 * こどもの本
時事新刊 * レコード

Mecklenburg



【あらすじ】

1幕

一場：女王の戴冠式でにぎわうロンドン、事業家ピーチャムは『乞食の友』と呼ばれる店を開いていた。その日、彼は愛娘ポリーに「隊長」と呼ばれる恋人がいる事を、妻シリアから聞かされる。その紳士は、真白な革手袋をし、象柄のステッキを持ち、短いゲートルを靴の上にはき、頸に傷痕がひとつあった。彼こそ大盗賊マッキー・メッサーであった。

二場：ソホーの心臓部の奥深く、盗賊どすのメッキーは乞食王の娘ポリーと結婚式を行なう。その席には、泥棒たち、警視総監ブラウンの姿もあった。

三場：どすのメッキーとポリーとの結婚を知ったピーチャムは、妻シリアと、二人の離婚の方法、そして、メッキーを絞首刑に送るための策を練る。この世のきびしさを知るピーチャムにとって娘を失なうのは、完全な破滅にひとしかったから。

2幕

一場：木曜の午後、どすのメッキーは、ピーチャムを避け、ハイゲートの沼池へ行くため妻ポリーに別れをつげなければならない。その頃、シリアは呑み屋のジェニーをたぶらかし彼の居所を密告することを約束させる。

二場：しかし、彼は己の習慣をやめはしなかつ

た。戴冠式の鐘もなりやまぬうちに、ターンブリッジの淫売宿に居た彼は、ジェニーの裏切りで逮捕されてしまう。

三場：彼は、ブラウンの娘ルウシーの助けでまんまと脱獄する。

3幕

一場：同じ夜、ピーチャムは出勤の準備をしていた。乞食の悲惨の示威運動により戴冠式の行列を妨害しようというのである。

二場：一方、メッキーはまたもや淫売宿に行き、裏切られ朝6時、いまにも処刑されようという事態にあった。そして、この時、初めてピーチャムと対面したのである。ピーチャムは言う。

「皆様がこの舞台におきましても

今日現実に起きている通りをご覧になれますように

つまり上の方の方々の盗賊マクヒースに対するご厚情を示すために

これより国王の馬上の使者を登場いたさせます。」と。

そして、国王の馬上の使者が現われ、メッキーは釈放され、世襲貴族の列に加えられる。

そして全員の合唱

——不正をあまり追ひ廻すな。やがておのずと冷えて来る、外は寒いんだこの暗さ、このひどい寒さを考えろ、嘆き声の響きわたるこの谷間では——

(原 寿宏)

Goethe-Institut München Sprachkurse in Deutschland

ドイツ国内におけるドイツ語講座

東京ゲーテ・インスティトゥート 語学部
東京都渋谷区道玄坂2-10-7
新大宗ビル2号館
電話 462-0848

〔各劇沿革〕

◆ドイツ語劇

- '60 辛抱強く、従順なグリザルク辺境伯爵夫人
 '61 こわれがめ クライスト
 '62 イエーダーマン ホーフマンスタール
 '63 青い麦わら帽子 ミヒヤエール
 '64 シェークスピアの死 ロスマン
 '65 女嫌い レッシング
 '66 初稿ファウスト ゲーテ
 '67 黒い蜘蛛 ゴットヘルフ
 '68 血縁 トーマ
 '69 ジークフリートの死
 '70 物理学者 デュレンマツト
 '71 ロムルス大帝 デュレンマツト
 '73 モンテビデオの家 ゲッツ
 '74 セチュアンの善人 ブレヒト
 '75 洪水 グラス
 '76 ドン・ジュアンまたは幾何学への愛 クリッシュ

◆スペイン語劇

- '60 小犬 アルニチェス
 '61 せんべい売り
 '62 善意の人 アルニチェス
 '63 作り上げた利害 ベナベンテ
 '64 姿なき愛 フェンテ
 '65 エル・キントピノ トノ
 '66 あなたも殺人者になれる
 パリ
 '67 六頭立ての馬車 イリアルテ
 '68 前夜 イリアルテ
 '70 洪水 マウラ
 '72 砂に描いた言葉 バジェホ
 '73 暗闇の中の愛 キンテーロ
 '75 雲が形を変えるとき クリアード
 '76 (春) ママの私生活 イリアルテ
 '76 (秋) 背徳の城 トーレ

◆フランス語劇

- '60 町人貴族 モリエール
 '61 イタリアの麦わら帽子 ラビッシュ
 '62 ジョルジュダンダン モリエール
 '63 気で病む男 モリエール
 '64 いやいやながら医者にされ
 モリエール
 '65 スカパンの悪だくみ モリエール
 '66 守銭奴 モリエール
 '67 女学者 モリエール
 '68 泥棒たちの舞踊会 ジャン・アヌイ
 '69 ムッバユード・プールソニヤック
 モリエール
 '70 將軍たちのおやつ ポリスヴィアン
 '71 フィガロの結婚 ポーマルシュ
 '72 イタリアの麦わら帽子 ラビッシュ
 '73 野性の女 ジャン・アヌイ
 '74 恋は医者 モリエール
 '75 エスキュリアル ゲルドロード
 '76 出口なし サルトル

◆ロシア語劇

- '60 どん底 ゴーリキ
 '61 検察官 ゴーゴリ
 '62 ワーニャ伯父さん チェーホフ
 '63 ごきげんよう ローゾフ
 '64 初恋 ローゾフ
 '65 プラトン・クレチェット
 コルネイチューク
 '66 結婚申し込み チェーホフ
 '67 イルクーツク物語 アルブーゾフ
 '68 私のかawaiiそうなマラート
 アルブーゾフ
 '70 ワーニャ伯父さん チェーホフ
 '72 見世物小屋 ブローク
 '73 三人姉妹 チェーホフ
 '74 ヴェロニーカ ローゾフ
 '75 かもめ チェーホフ
 '76 ターニャ アルブーゾフ

編集後記

北の果てから出てきた小生にとって、今年の夏はいやというほど、東京の暑さを身にしみて感じさせられました。高層ビル街のコンクリートのはねかえりの熱にあてられながら、ミニ・マップ片手に、広告取りに奔走……。

だるくて、動きが緩慢になり、最終原稿が出揃った時は、予定をもう一週間すぎていました。誠に遺憾に思っております。有珠山が噴火したのも、そんな怠惰な小生に腹を立てたのかな？

私事になりますが、小生嘗って正統派作曲法を学んだことがあります。一つの短い主題から、ア

メーバ状に分裂、展開・発展していき、一つの楽曲を創り上げてゆく、そこには緻密さ、正確さ、独自性、総合性が要求されます。

こと、演劇についてはド素人ではありますが、芸術というつながりだけで敢えて挑戦しようとしております。

——人間、何かを創り出そうと一生懸命になっている時の顔が何よりも美しいのです。

さあて、残暑すぎたら、スパートをかけなくちゃ……

(山 川)

第18回語劇祭実行委員会

委員長 雑賀 克 行(西)
副委員長 山 川 泰(露)
関 川 誠(独)
金 子 貴 彦(仏)

パンフレット編集

西 本 尚 美(西)
角 田 純(仏)
森 千鶴子(独)
水 島 久美子(独)
山 川 泰(露)

表紙デザイン

佐 藤 宣 子(露)

ドイツのフォークロア

文学の背景としてのわらべうたからアングラまで

編著者/D. シュトゥッケンシュミット
塚部啓道・水谷泰弘・小栗友一・柴田庄一 訳

A 5判・264頁 定価 2,500円

ドイツ文化の土壌を形成し、ドイツ人の心の糧となっている「文学の背景」と、「文学の背景」にあって晴れの文学の舞台に出られないもの——ドイツ人なら誰でも知っている、ドイツ文学を読む前に是非知っておきたい領域をとりあげ、興味深く解き明かしたものである。

本店 113 東京都文京区本郷3-42-6・振替口座東京2-149・電話(03)811-7234(代表)
支店 604 京都市中京区寺町通御池南・振替口座京都5050・電話(075)221-7841(代表)

ウィーン・オペレッタの楽しみ

—レハール、カールマーン作品選—

西澤龍生・渡辺忠雄 編注

B 6判・208頁 定価 1,800円

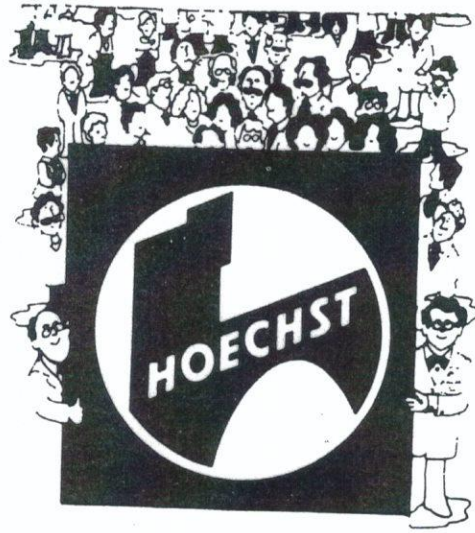
たのしいドイツ語

田中道夫・藤田 賢・藤代幸一 著

B 6判・200頁 定価 1,300円

南 江 堂

ドイツ生れのオーケストラ。



オーケストラが実にさまざまなインストルメントで構成されているように、私達ヘキストもあらゆる分野にわたる化学製品を揃えています。高水準を誇る独自の医薬品の数々をはじめとし、染料、顔料、プラスチック、ワックス、ファインケミカル、農薬…など数千種類。総合化学品をつうじて明日の

日本のために美しいハーモニーを奏でています。ヘキストジャパンは常に求めています。“すばらしいプレイヤーを”。

ヘキスト ジャパン株式会社

札幌・仙台・新潟・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

●応募・資料請求等のお問合せ 03(479)5111(大代) 人事部

ロシア語を日ソ学院で

本科 { ひる 3年制 試験日 3月下旬
よる 2年制

研究科 本科卒業生、上級履修者を対象にしたマスターコース
週3日 1年制

講習会 3カ月1期の連続コース
Aコース ひる 月・木曜
Bコース よる 火・金曜
日曜コース 毎日曜
ゼミナール 会話、文学、歴史、児童文学
自然科学、新聞講読

通信講座 入学随時

集中講座 { 春期 3月下旬 14日間
夏期 7月下旬 20日間

夏期大学 8月初旬 海、山の自然の中で、生活を共にしながらロシア語を学ぶ。

ロシア語学力検定試験 10月施行 初級、中級、上級、通訳コース

東京都世田谷区経堂1-11-2
小田急線経堂南口3分
〒156 ☎(425)4011 学則 300円

専修学校 **日ソ学院**



1977年 第18回 上智大学語劇祭

発行日 昭和52年9月10日
発行 上智大学語劇祭実行委員会
編集責任者 山川 泰
印刷所 三鈴印刷株式会社 電話(03)941-1181(代)